

夢のかけはし

梅で鹿屋と世界をつなぎたい

2人とも1989年中国山東省生まれの29歳。日本語検定1級。平成19年～22年に堀之内農園(高牧町)で技能実習生として学び帰国した後、平成24年にウエさんが、25年にリュウさんが再来日。現在は社長の堀之内辰男さんの養女として南高梅の生産等に携わる。

【リュウ】日本がどんな国なのか興味があり、日本での技能実習生に応募し、来日したのが11年前。2人とも中国の山東省の出身ですが、日本行きが決まるまで、お互いのことは知りませんでした。

【ウエ】鹿屋で梅(南高梅)を生産加工する堀之内農園で3年間働きながら日本語を修得するなどお世話になり、帰国しました。その後、何をしようかと考えていた時に、堀之内さんから日本留学の話をいただき、再来日。今では堀之内農園の社員として、「かのや南高梅」の梅干し作りに励んでいます。

【リュウ】今、私は社長に付いて、自社梅園の管理から現場仕事の段

取りまでを勉強中です。梅園の手入れには、手間暇がかかります。5月中旬から梅の実を手で採り始め、6月からの約1か月は、完熟し落ちた梅を毎日拾い、塩漬けします。そして夏は暑いビニールハウス内での天日干し作業です。年間を通しての草刈や消毒、せん定、施肥の作業なども大変です。

【ウエ】私は会社の事務や営業の仕事を任されています。南高梅の取引のために、東京等での商談会へ出向くこともあります。味と品質については高評価をいただくことが多いですが、販路拡大のためには、まだ課題もあります。

【リュウ】今の時期は、日々大きくなる梅の実を見るのが楽しみで

中国出身で梅干し作りに奮闘する

堀之内 ウエさん (右)
リュウさん (左)

す。海外への輸出も視野に入れたいとの思いがあり、もっと勉強して早く一人前になりたいです。

【ウエ】中国では酸っぱいものより甘いものが好まれますが、最近の健康ブームで、日本の食が浸透する可能性はあると思います。

【リュウ】鹿屋に来て一番良かったのは、地元の人たちが親切で優しいこと。鹿屋はきれいな景色が多いのもいいですね。

【ウエ】鹿屋の自然の中で不自由なく仕事し暮らせていることが、ありがたいと思っています。これからも、目の前の仕事に真摯に取り組み、色々な方との付き合いを大事にしながら、暮らしていきたいです。



約12haと広大な自社梅園を案内してくれた2人。木々には梅の実がたわわに実っていました。2人は休日にも一緒に映画鑑賞や買い物などで仲良く過ごし、喧嘩も今までしたことが無いのだとか。



6月19日(火) 9時5分から FMかのや に 2人 が出演予定